

令和6年度 児童朝会 (講話84)

令和6年10月21日【ねこ 5】
おはようございます。

ようやく涼しくなってきましたね。
ただ、昼間はまだ暑いので体調をくずさないようにしてください。

前回のお題ですが、皆さんが飼っているペット、あるいはこれから飼いたいペットは何ですか? というものでしたね。たくさんのお友だちが、犬やネコを書いてくれました。ありがとうございます。

一方、一部のお友だちだと思うのですが、少しふざけた答えや落書きがありました。校長先生は少し悲しくなりました。あのボードは結構気に入っています、見る、読む、書くお友だちが多いので、今後はやめてください。お願ひします。

さて、この「ネコ」のお話では、主にライオンやチーターなどの大型ネコ科の動物のお話をできました。なんと、それらの中で、むかし日本に住んでいたものがいるのですが、何でしょう?

そう、みなさんの予想通り、トラですね。その証拠に、日本では昔からトラの絵がたくさん描かれてきました。江戸時代の有名な狩野山雪さんや、尾形光琳さんなども描いています。他に、日本にトラがいた証拠は何があるでしょうか? 少し聞き合ってみてください。

このあたりから聞こえてきましたが、そう「虎に翼」などことわざ、故事成語ですね。これはテレビドラマのタイトルにもなったので、聞いたこと

のある人も多いと思います。意味は、強いものにさらにすぐれたものを加えることですね。他に、龍虎の戦い、虎穴にはいらざんば、虎児を得ず、虎の威を借る狐、雲は龍に従い、風は虎に従うなどなど、実はトラに関する言い回しはたくさんあります。

しかし、なぜ今の日本に野生のトラはいなくなってしまったのでしょうか?

トラ1頭が生きていくためには1300km²が必要と言われています。大阪市で200km²ですからその6倍以上の面積が必要です。そう、トラが住むにはこの日本は狭すぎるという問題があります。

一方、世界に目を向けてみると、なんと100年前には10万頭いたと言われていますが、いまでは3000頭と考えられています。あと10年でいなくなるとも言われています。このように、ある生き物が地球上からいなくなること「絶滅」といいます。他にもユキヒョウやチーターなども絶滅の危機にあります。

なぜ、トラは絶滅しそうなのでしょうか?

一つには、トラの毛皮などトラはものすごく高い値段で取引されるため、密猟がたえないのです。

そして、ジャングルの木が切られ過ぎて、トラの家、住みかがなくなってきたことも大きな理由です。ではなぜ木を切るのでしょうか? 少し聞き合ってください。

そう、皆さんの予想通り家とかの建築用に使うことが多いのですが、実は

紙の原料になる木材も多いのです。みなさんがよく使っている、ノートや教科書、ティッシュやトイレットペーパーなどなど。そう、紙の無駄遣いをやめれば、少しは木を切る必要がなくなり、トラのすみかも増えるかと思います。

いまWWFを中心に、動物の絶滅をなくす運動がおこっています。こんな募金箱見たことがありますか。パンダの絵のついた募金箱です。

それでは、今週のお題です。この募金箱のように、トラの絶滅を防ぐためには、どんなアイデアがありますか。こうしたら、絶滅をふせげるよという考えがありましたら、校長室前のボードに書いてくださいね。

以上で校長先生のお話を終わります。今日も最後まで聞いていただき、ありがとうございました。

